

アウトカム指標及び目標の効果検証（達成状況）（令和 6 年度）

1. 金融機関等と目線合わせを行うなどの連携及び協議の上選定した国の中小企業・小規模事業者経営支援強化促進補助金事業を活用した中小企業者、または返済緩和の条件変更を実施している中小企業者で経営改善計画策定支援事業（405 計画事業）を活用し計画を策定した中小企業者（以下、対象企業という。）を対象に、以下のアウトカム指標による経営支援の定量的な効果測定を実施しました。

2. 効果検証（達成状況）について

（1）アウトカム指標

ローカルベンチマーク 6 指標に C R D 区分、営業キャッシュフロー、及びフリーキャッシュフローの 3 指標を加えた全 9 指標の改善度

（2）達成状況

目標①：対象企業において支援開始年度と支援期間中の 1 年目から 3 年目までを比較、改善及び横這いの企業数が 40%以上となるよう取り組む。

達成状況：支援 1 年目は全 9 指標において 40%以上を達成。

支援 2 年目は 8 指標において 40%以上を達成。

支援 3 年目は全 9 指標において 40%以上を達成。

自己評価：全体的な傾向としては、経営支援に加え、大きな影響を受けた新型コロナウイルス感染症拡大等の外部環境要因も薄まり、ほぼ全ての項目と年度で概ね達成。年数経過とともに改善効果が薄れないよう引き続き伴走支援により財務の改善に取り組む。

目標②：経営改善計画の策定を実施した中小企業者と返済緩和中の計画未策定企業の全指標の平均値を比較、支援企業が上回るように取り組む。

達成状況：未策定企業との比較では、支援企業が 1 年目は 1.5 ポイント、2 年目は 5.6 ポイント、3 年目は 2.0 ポイント、それぞれ上回る結果となった。

自己評価：経営支援効果が認められることから、今後も計画未策定企業には策定支援等により改善を促していく。